

```
# UPDATED
# 2004-04-23 変更内容 XXXXXX
#
# MESHCODE, JLON, JLAT, WLON, WLAT, JCODE, HEIGHT, AVS, ARV
3654000000N, 136.0000000, 36.0000000, 135.9971200, 36.0031100, 1, 1.000, 500, 1.000000
以下省略
```

10) データ精度規約

各データの精度は以下の通りとする。(C 言語書式で記載)

MESHCODE	%11c
JLON	%11.8f
JLAT	%11.8f
WLON	%11.8f
WLAT	%11.8f
JCODE	%2d
HEIGHT	%8.3f
AVS	%3.0f
ARV	%9.6f

13.2 入出力フォーマット

以下に、本ツールにおける入出力ファイルのフォーマット形式の規約を掲載する。尚、ファイル形式は基本的には、独立行政法人 防災科学技術研究所の J-SHIS 形式 (<http://www.j-shis.bosai.go.jp/>) に従うものとする。

13.2.1 MAP ファイル(J-SHIS 形式 : S_KLIST_MAP-****.csv) の規約について

MAP 形式のファイルフォーマットの規約を下記に記す。

1) 概要 (J-SHIS ファイルフォーマット規約(新)) より抜粋 (一部加筆修正)

本書は、震源断層を特定した地震動予測地図(以下、「シナリオ地震」と記述)における距離減衰式による強震動予測地図の計算結果データを記述するファイルの規約を示すものである。予測地図データは各シナリオにおける 1 断層モデル (1 ケース) に対し 1 ファイルとし、2) ~9) で示す規約により作成記述される。

2) ファイル命名規約

予測地図データのファイル名は大分類 1、大分類 2、大分類 3 を“ - ”で接続し、拡張子は csv とする。それぞれの分類は、内包される中分類を“ _ ”で接続したものとする。各中分類をあ

らわす文字列に“ - ” 及び“ _ ” を用いてはならない。表 13-2-1 に各分類の包含関係と分類内容を示す。

表 13-2-1 各分類の包含関係と分類内容

分類		中分類記述	説明
大分類 1	中分類 1-1	シナリオ地震動予測地図データ識別子	固定文字列 (S)
	中分類 1-2	シナリオ地震名	シナリオ地震における断層番号
	中分類 1-3	解析手法識別子	固定 (KLIST)
大分類 2	中分類 2-1	データ識別子	固定 (MAP)
大分類 3	中分類	想定地震断層ケース名	想定ケース名

ファイル名記述例： S_F000101_KLIST-MAP-CASE1.csv

3) データ記述規約

予測地図データは#で始まるコメント行から始まりファイル内容更新の履歴(VER.)とその日付(DATE)を記録する。“ # AREA” で始まり、#で始まる 1 行のヘッダ行で構成される「解析範囲列」および、“ # DATA” で始まり、#で始まる 1 行のヘッダ行で構成される「解析データ列」から構成される CSV ファイルである。各“ #” で始まる 1 行のヘッダ行はファイルの先頭から連続して任意の行数記述する。ヘッダ行、データ行はコメント行以降連続して記述すること。CSV のヘッダ名と各列の説明を解析範囲列に関して表 13-2-2 に、解析データ列を

表 13-2-3 に示す。

4) ファイルバージョン

VER. = X.Y の形式で記述する。X はメジャーバージョン、Y はマイナーバージョンを示す。

5) 作成日時

DATE = YYYY-MM-DD の形式で記述する。YYYY は西暦、MM は 2 桁の月、DD は 2 桁の日を示す。

6) 更新履歴

UPDATED

YYYY-MM-DD 更新内容 1

YYYY-MM-DD 更新内容 2

...

の形式で記述する。

7) ヘッダ行、データ行

簡便法解析データは、以下のような記述形式を基本とする。

①“ # AREA” で始まり、次の#で始まる1行のヘッダ行で構成される「解析範囲列」

②“ # DATA” で始まり、次の#で始まる1行のヘッダ行で構成される「データ列」

表 13-2-2 解析範囲列(# AREA)説明

列番号	ヘッダ名	説明
01	JLON	座標経度（日本測地系）
02	JLAT	座標緯度（日本測地系）
03	WLON	座標経度（世界測地系）
04	WLAT	座標緯度（世界測地系）

※ 解析範囲とは解析範囲の4隅を形成する点の座標を示す。

表 13-2-3 解析データ列(# DATA)説明

列番号	ヘッダ名	説明
01	MESHCODE	3次（または250m）メッシュコード ※1
02	JLON	計算位置中心座標経度（日本測地系）
03	JLAT	計算位置中心座標緯度（日本測地系）
04	WLON	計算位置中心座標経度（世界測地系）
05	WLAT	計算位置中心座標緯度（世界測地系）
06	BV	工学的基盤における最大速度(cm/sec) ※2
07	EB	工学的基盤のS波速度(m/sec) ※2
08	AMP	工学的基盤から地表の増幅率 ※2
09	SV	地表における最大速度(cm/sec) ※2
10	SI	地表における計測震度 ※2
11	DPOP	メッシュ当たりの昼間人口（人）
12	NPOP	メッシュ当たりの夜間人口（人）
13	V5L	震度5弱になる下限地震基盤最大速度(cm/sec)
14	P5LL	震度5弱未満になる確率
15	P5LU	震度5弱以上になる確率
16	V5U	震度5強になる下限地震基盤最大速度(cm/sec)
17	P5UL	震度5強未満になる確率
18	P5UU	震度5強以上になる確率
19	V6L	震度6弱になる下限地震基盤最大速度(cm/sec)
20	P6LL	震度6弱未満になる確率

21	P6LU	震度 6 弱以上になる確率
22	V6U	震度 6 強になる下限地震基盤最大速度 (cm/sec)
23	P6UL	震度 6 強未満になる確率
24	P6UU	震度 6 強以上になる確率
25	V70	震度 7 になる下限地震基盤最大速度 (cm/sec)
26	P70L	震度 7 未満になる確率
27	P70U	震度 7 以上になる確率

※1 MESHCODE の記述に関しては J-SHIS よりダウンロードできる資料「メッシュコード記述説明書」を参照すること。

※2 データが存在しない場合“NaN”を記入する。工学的基盤は原則 $V_s=400$ (m/s) で記述する。

8) データ記述例

以下にデータ記述例を示す。

VER. = 1.0

DATE = 2008-04-01

#

UPDATED

#

#

AREA

JLON, JLAT, WLON, WLAT

135.9500000, 35.7160000, 135.9471000, 35.7191400

135.9500000, 38.3150000, 135.9469900, 38.3178300

138.7500000, 38.3150000, 138.7467400, 38.3179100

138.7500000, 38.3150000, 138.7467400, 38.3179100

DATA

#MESHCODE, JLON, JLAT, WLON, WLAT, BV, EB, AMP, SV, SI, DPOP, NPOP, V5L, P5LL, P5LU, V5U, P5UL, P5UU, V6L, P6LL, P6LU, V6U, P6UL, P6UU, V70, P70L, P70U

56000000N, 135.95000000, 35.71666000, 135.94710000, 35.71980000, 1.8216, 400, 1.0510, 1.9145,

3.1651, 24.000, 20.000, 8.1024, -9999, 1.990, 0.2174, -9999, 0.053, 0.0000, -9999, 0.000, 0.0000,

-9999, 0.000, 0.0000, -9999, 0.000

9) データ精度規約

各データの精度は以下の通りとする。(C 言語書式で記載)

MESHCODE %s

JLON %.8f

JLAT	%. 8f
WLOn	%. 8f
WLAT	%. 8f
BV	%. 4f
EB	%d
AMP	%6. 4f
SV	%. 4f
SI	%6. 4f
DPOP	%. 3f
NPOP	%. 3f
V5L	%. 4f
P5LL	%. 3f
P5LU	%. 3f
V5U	%. 4f
P5UL	%. 3f
P5UU	%. 3f
V6L	%. 4f
P6LL	%. 3f
P6LU	%. 3f
V6U	%. 4f
P6UL	%. 3f
P6UU	%. 3f
V70	%. 4f
P70L	%. 3f
P70U	%. 3f

13. 2. 2 FAULT ファイル（J-SHIS 形式：S_KLIST_FAULT****. csv）の規約について

FAULT 形式のファイルフォーマットの規約を下記に記す。

1) 概要（J-SHIS ファイルフォーマット規約(新)）より抜粋（一部加筆修正）

本書は、震源断層を特定した地震動予測地図(以下、「シナリオ地震」と記述)における簡便法断層座標データを記述するファイルの規約を示すものである。断層座標データは各シナリオにおける1断層モデル(1ケース)に対し1ファイルとし、2)～11)で示す規約により作成記述される。